

1. 交付金事業の名称            資源・エネルギー教育推進事業
2. 交付金事業の事業主体      富山県
3. 交付金事業の実施場所      富山県
4. 交付金事業の概要            原子力・エネルギーの学習に必要な以下の内容を実施した。

【富山県事業】

(1) 実験器具・実験材料の整備

- ・原子力・放射線の学習に関する教材の整備（雄峰高校、氷見高校、砺波高校）  
放射線測定器、戸田式霧箱、放射線観察実験材料一式（ドライアイス・エタノール）を整備し、原子力・放射線の学習に活用する。
- ・発電・エネルギーの学習に関する教材の整備（高岡南高校、氷見高校、砺波高校）  
デジタル測定キット（圧力センサー、温度センサーを含む）、発電原理実験器、電磁現象実験器、燃料電池自動車、高出力光電池、オームの法則実験器、直流電流計、直流電圧計等を整備し、発電・エネルギーの学習に活用する。

【市町村事業】（滑川市）

(1) 実験器具・実験材料の整備

- ・原子力・放射線の学習に関する教材の整備  
市内の2つの中学校を対象に「放射線の性質を調べる実験セット」を整備し、原子力・放射線の学習に活用する。

【市町村事業】（立山町）

(1) 実験器具・実験材料の整備

- ・発電・エネルギーの学習に関する教材の整備  
町内の1つの小学校を対象に「マルチエネルギーキット」を整備し、発電・エネルギーへの理解を深める。

【市町村事業】（小矢部市）

(1) 実験器具・実験材料の整備

- ・発電・エネルギーの学習に関する教材の整備  
市内の1つの小学校、及び、2つの中学校を対象に、光電池学習セット、手回し発電機、燃料電池自動車、発電エネルギー比較実験器等を整備し、発電・エネルギーの学習に活用する。

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費 4,457,156 円

交付金充当額 4,457,156 円

6. 交付金事業の成果及び評価

事業終了後に生徒に対して実施したアンケート結果による理解度については、80%の目標に対し88%（達成度：110%）の実績で、達成できていた。このことから、教科書を用いた座学だけではなく、実際に実験などを行う体験的な学習を行う事により、放射線やエネルギーに関する興味・関心が高まり、その結果、生徒の理解が深まったと考えられる。

満足度については、目標の85%に対して、88%（達成度：104%）となっており、次年度も今年度同様に、今後のエネルギー教育の指導に活かしていくこととした。なお、購入した機器については、次年度以降も継続して授業等で活用していく。